

12月11日（金）

中体連スケート東濃・県大会で 2年Y・R君が健闘しました

中体連の大会がことごとく中止となった今年度、ウィンタースポーツだけは感染症対策を十分施して開催されます。その一つが、スピードスケートの大会です。スピードスケートは施設環境の関係で、取り組んでいる選手が東濃地区に限定されます。そのため、東濃大会がそのまま県大会になります。



スタート直後のY・R君（右）

この日、瑞浪北中から2年生のY・R君が出場しました。彼は北中からの出場者であると同時に、瑞浪市からの唯一の出場者でもあります。恵那市や中津川市の東濃東部の中学生がほとんどの中、数少ない東濃西部からの出場者の一人として健闘しました。

出場種目は500メートルと1000メートル。空気抵抗を避けるため、スケートは常に前傾姿勢で滑走します。その分、距離が長くなればなるほど、その姿勢を保つ時間が長くなり、体力的にハードになってきます。

彼の記録は、500メートルが44秒34で第3位、1000メートルが1分34秒10で第4位でした。本校からはたった一人の出場でしたが、彼が



見事なコーナリングを見せるY・R君

2種目で好成績を収めたために、瑞浪北中学校が総合成績（男子の部）で第3位となりました。

彼は、年が明けた1月30日からエムウエーブ（長野市）で行われる全国大会（全中）に出場します。